

正誤表

2009年11月13日

弊社書籍『診療放射線技師国家試験問題注解2010』平成21年7月20日2010年版発行
(奥付をご参照ください)の記載に、一部誤りがございました。
以下の通り訂正しお詫び申し上げます。

該当箇所	誤	正
315 ページ 20～22 行 問題 12-36 注解部分	副鼻腔と前頭洞が描出され、撮影体位も 45 度が予測されることより 5.ウォーターズ (Waters) 法である。	副鼻腔と前頭洞が描出され、撮影体位も浅い(15度)ことが予測されることから 1.コールドウェル (Caldwell)法である。副鼻腔の篩骨洞は蝶形骨洞と重ならないので観察しやすくなる。
419 ページ 13～14 行	$D_c=15nC \times 50mGy/nC \times 1=75mGy=0.075Gy$	$D_c=15nC \times 50mGy/nC \times 1=750mGy=0.75Gy$
419 ページ 21～22 行	$D_r=0.075/0.75=0.1Gy$	$D_r=0.75/0.75=1Gy$
419 ページ 24 行	$1MU=0.1Gy/100MU=0.01Gy$	$1MU=1Gy/100MU=0.01Gy$